

『退院支援研修①・②』

◇研修日：① 平成 29年9月30日（土）

◇会場：ウインクあいち

◇テーマ：チームで行う退院支援の課題～退院支援看護師との協働

◇参加人数：27名

◇アンケート コメント 紹介◇



- ◆それぞれの病院で悩みはつきないのだと思いました。MSW、看護師それぞれの強みを活かして協働していきけるような体制作りを目指したいと思いました。野田さんの言われていた退院支援看護師から看護部への教育をしていただくという方法は提案していきたいと思います。
- ◆加算をとっていかうとしていたところで、どのように対応していけばいいのかとても参考になりました。
- ◆他機関の取り組み、実際の業務内容や葛藤も聞いて、とても参考になり、はげみになりました。
- ◆それぞれの機関にそれぞれの問題があり、同じ機能の医療機関でも立場や求められる業務の違いを感じた。

◇研修日：② 平成 29年 11月4日（土）

◇会場：ウインクあいち

◇テーマ：保証人不在者への退院支援

◇参加人数：32名

◇アンケート コメント 紹介◇



- ◆保証人の問題で悩んでいるワーカーさんがたくさんいることが分かりました。思いを共有できてよかったです。MSWの強みを発揮していきたいです。
- ◆保証人不在のケースこそ、多職種・多機関での連携、情報の共有を行い、本人にとってどのようにしていくことが良いのか検討することが重要と感じました。まずは院内で、SWの福祉アセスメントをしっかりと共有することが大事（院内でも協力を得ること）。一人で抱えないよう支援したい。
- ◆いろいろな病院の方と話ができて良かったです。担当MSW個人ではなく、メゾ・マクロでの検討が必要との話があり、少し気持ちが楽になりました。

◇委員よりひとことコメント◇

退院援助研修を終えて

退院支援研修委員 山下 純子

今年度は、今までの研修回数を変更し2回シリーズとしてテーマを絞って実施しました。1回目は、退院支援加算の算定システムの構築や看護師との協働について、講義や実践報告をふまえ病院機能別のグループワークでMSWの役割などについて深めました。2回目は、保証人問題についてと患者の意志決定支援の講義を行いました。また医療福祉アセスメントを活用した、身寄りのいない事例の退院支援についてワークショップを行いMSWの専門性を考える研修としました。当日の様子やアンケート結果から、参加者が日頃の実務を振り返るきっかけとなったようでした。委員会としては、これらの研修を通して、MSWの実務に直結する研修が求められていると同時に、激動する医療情勢や診療報酬等に振り回されないMSWの専門性を学ぶことが必要であることを実感しています。次年度は、それらにより深く学べる研修にしたいと考えていますので、ぜひご参加ください。